

# 平和行進活動交流ニュース

発行:原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局  
電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033 Eメール:antiatom55@hotmail.com

2014年  
6月24日  
No.6

## 「核兵器は生き方の根本に関わる問題なのでなくすのは当然！」

—被災地平和行進(福島)—

### ● 仮設住民から 85 筆の署名：中通りコース



6月21日に山形県から引き継いだ中通りコース 2日目の22日は被災地連帯平和行進ツアーが行進に参加しました。ツアー参加者は全日本金属情報機器労働組合(JMIU)の西正和さん、全国生活と健康を守る会連合会(全生連)の西野武さん、東京平和委員会の岸本正人事務局長、神奈川県原水協の笠木隆事務局長、益山光徳さん、埼玉・上尾市原水協の田中裕久さん、しんぶん赤旗記者の秋山豊さん、日本原水協の前川史郎担当常任理事の8人。午前中に福島県伊達郡桑折町駅前応急仮設住宅(286戸)を訪問し、お住まいの方々からお話を伺いました。

現地から自治労連福島県本部副中央執行委員長の斉藤裕二さんと酒井誠さんの2人も加わり集会所に入ると、すでに18人の住民のみなさんが集まっていました。それぞれ自己紹介をした後に、さっそくお話を伺ったところ、「住んでいる人は年配者が多く、病院に行くのもタクシーを使わなければいけない。

東電は私たちが死ぬのを待っているのかと思う」、「原発事故が起こる前と比べると居住面積が13分の1になってしまった。狭いところに閉じ込められているうちに、若い人も病気になっていく。私たちは被災者ではなく被害者だ。とにかく元の生活に戻してほしい」などの言葉が口々に出されました。

事前に浪江町役場桑折出張所の伊東重幸さんに福島県原水協作成の馬場有浪江町長の顔写真入り「核兵器全面禁止のアピール」署名用紙を送っていたところ、仮設住宅自治会長の川合陽一さんと協力して仮設住宅の掲示板や集会所などいたるところにポスターが貼ってありました。そして、川合さんから懇談終了後に回覧で集めていただいた85筆の署名用紙が手渡されました。

川合さんは、「仮設住宅にお住まいのみなさんは、



国会議員がどこを向いて政治をしているのかに、不信感を強めている。核兵器は生き方の根本に関わる問題なのでなくすのは当然のこと。加えて私たちの生活に対する補償や原発をなくしていく方向性についても、インパクトのある標語を募集するなどしてなかなか動かない日本政府をぜひ動かしてほしい」と言われました。

## ●副町長から初めての激励あいさつ：桑折町

6月22日の午前中に国見町役場から出発した中通りコースは、桑折町役場を訪問した際、日曜日にも関わらず、初めて副町長が挨拶に見えました。

伊達駅前での出発集会には、日本共産党伊達市議団の佐藤清壽議員、近藤眞一議員が「東電福島第1原発事故を経験したからこそ説得力を持って核兵器も原発もゼロを訴えて行きましょう」とあいさつし行進に参加しました。雨模様の天気の中、愛知から県内通し行進に参加している田中詔子さんを先頭に「核兵器なくそう平和行進です」と通りかかる人、お店の人、車の中の人たちによびかけながら歩くと、会釈を返してくれたり、ハンドルから手を離して両手で手を振ってくれるなど、確かな連帯の反応を感じました。（日本原水協・前川史郎）

## ●100人の行進、核兵器も原発もいらない：浜通りコース

福島県浜通りコースの被災地連帯行進は今回が3度目。6月22日の宮城から新地町役場での引継ぎ集会は、東京からかけつけたうたごえ南部合唱団メンバーの和太鼓で始まり、宮城県、福島県の行進者のほか、兵庫、静岡、大阪など各地から駆けつけた連帯行進者、約100人が参加しました。

北海道ー東京コースの通し行進者の山口さん、地元福島原水協代表理事の二階堂さん、新地町の井上和文町議、相双地区平和行進実行委員会の大内秀夫さん、日本原水協の高草木博代表理事らがあいさつしました。この日、行進団は新地町から相馬市内を歩きました。



6月23日、南相馬市小高区では震災前は町一番の繁華街だった JR 小高駅から続く商店街を行進しました。人通りはまったく途絶え、傾いて倒壊寸前の建物や、商品の学習机や本棚が将棋倒しになった家具店などが残ったままです。昨年4月に警戒区域の指定は解除されたものの、日中の立入はできますが、今も居住・宿泊はできません。

行進後の交流会では、南相馬の渡部市議、地元実行委員会の方々から、3年後も仮設住宅の生活を続ける住民の苦悩と現状を聞くことができました。南相馬市役所では、市長代理と懇談し、平和行進への支持・賛同と、原水爆禁止世界大会への桜井市長の出席を要請しました。

平和行進のニュース・写真をお寄せ下さい。  
→[maekawa@antiatom.org](mailto:maekawa@antiatom.org)